

# 淡江大學 103 學年度碩士班招生考試試題

系列：日本語文學系

科目：日文(閱讀、作文、中日互譯)

考試日期：3月2日(星期日) 第2節

本試題共 四大題，三頁

本試題雙面印刷

## (一) 次の文章を読んで、下記の質問に答えよ。各回答 2% 合計 32%

ウナギといえば蒲焼きであるが、一二八六年の書物にそれらしき記述があるというから、蒲焼きの歴史もなかなかのものがある。(中略)

日本人はどこかでウナギとの付き合い方を間違ってしまったのではないだろうか。小川や水田、溜池や干潟といったウナギにとって重要な場所を次々と破壊した結果、ウナギはいつの間にか遠い存在になってしまった。

黒く焦げて、ちょっと破けたうちわが送り出す風に乗って蒲焼きの香りに誘われる機会もだんだん少なくなってきて、ご馳走になったはずのウナギは、いつのまにか真空パックの中に収まってスーパーやコンビニの店頭<sub>に</sub>並ぶ、ありきたりの食材になってしまった。われわれはウナギを育む身近な自然を思いやる気持ちも、ウナギを大切に<sub>して</sub>ありがたがって食べる気持ちも、いつのまにか忘れようとしているのではなからうか。ワシントン条約の対象種になったのはヨーロッパウナギだが、ニホンウナギの置かれた状況も同様に厳しく、いつ、絶滅危惧種の仲間入りをしてもおかしくないところまで来てしまっている。

ただ、一生の間に数キロの旅をし、ダムの垂直な壁を上り、水から出て、地面の上をも進むこともできるウナギの力は、生態系が持つ強靱さの象徴でもあるように思う。

(井田徹治『ウナギ地球環境を語る魚』岩波書店より)

質問 1 下線部分の漢字の読み方を書け

- ①蒲焼き ②破壊 ③香り ④ご馳走 ⑤育む ⑥絶滅危惧 ⑦仲間入り
- ⑧生態系 ⑨強靱さ ⑩象徴

質問 2 以下の言葉を中国語に訳せ。

- ①真空パック ②ありきたりの食材 ③ワシントン条約 ④ダム

質問 3 伝統習俗としては、日本人はいつ、ウナギの蒲焼をよく食べているか。

- ①子供の日
- ②お正月
- ③節分
- ④土用の丑の日
- ⑤結婚式
- ⑥成人式の日

質問 4 上の文章の内容と一致している主旨を選べ。

- ①ニホンウナギは既にワシントン条約の対象種になっている。
- ②日本人が古くから共生的に付き合っている魚は、ウナギである。
- ③ウナギは相変わらず、日本人にとって身近な存在である。
- ④ウナギの絶滅危惧の問題は今こそ、日本人の正視すべき問題である。



# 淡江大學 103 學年度碩士班招生考試試題

系別：日本語文學系

科目：日文(閱讀、作文、中日互譯)

考試日期：3月2日(星期日) 第2節

本試題共 四大題，三頁

(二)A群にあるセンテンスにある括弧を、B群から選んで、番号だけを記入せよ。各2% 合計20%

よ。各2% 合計20%

A群

1. 旅先で多くの人に出会った私は、いつも( )の気持ちで接しています。
2. 原発事故の被災地に、何か( )ことができないかと思うボランティアの人々が多く集まってきました。
3. 賄賂、脱税で取り締まられる企業家の数は、あくまでも( )に過ぎないです。
4. 経営失敗、離婚、倒産を何度も繰り返しても、諦めずに頑張ってきた。  
私の人生は( )の生活でした。
5. ( )の人生を送ってきたこそ、他人の小さな好意にも感謝するようになってきました。
6. 能の魅力は一度見てみないと分からないものですね。まさに( )の通りです。
7. ( )とはよく言いますが、どんなに優しい人でも、たびたび馬鹿にされると怒りますよ。
8. 半沢の私は、意地でも、株で失敗して不正に走った浅野支店長の( )ような、きたないことはしませんよ。
9. 幾たびも危い目に遭って来た( )のベテランに、社会に出たばかりの新米が勝てるわけはないです。
- 10 博打は( )と、常に注意されてきましたが、一度はまると、なかなか止められませんね。

B群

- ①海千山千 ②氷山の一角 ③二の舞を演じる ④仏の顔も三度 ⑤百害あって一利なし  
⑥一役買う ⑦七転び八起き ⑧一期一会 ⑨波瀾万丈 ⑩百聞は一見に如かず

(三)中文翻譯と意見文 30%

三月一日、被災地で無数に起きたことを考えると、「リスク社会」という言葉が思い浮かぶ。ドイツの社会学者、ウルリッヒ・ベックは、一九八六年に出版して欧米でベストセラーとなった著書『危険社会』(法政大学出版局、一九九八)で、現代を「リスク社会」と呼んだ。ベックは、産業社会が新たな時代、「第二の近代」に入り、それまでとは違う「新しいリスク」を抱えるようになったという。人間社会が生み出したにもかかわらず、明確な予想も防御も解決もできないようなリスクを、ベックは「新しいリスク」と位置づけ、原発事故や残留農業、核廃棄物、農害などを典型的な例として挙げている。

東日本大震災による被害もまた、現代の新しいリスクにかかわることなのだろう。福島

# 淡江大學 103 學年度碩士班招生考試試題

系別：日本語文學系

科目：日文(閱讀、作文、中日互譯)

考試日期：3月2日(星期日) 第2節

本試題共 四大題，三頁

第一原発の事故はもちろんのこと、「自然災害」である津波被災に関しても、そうだと思う。津波の発生そのものを人が制御することは不可能だが、その発生を予想し、防災、減災の備えをするのは、人である。その仕組みに、新しいリスクは潜んでいる。

現代社会では、行政機構が肥大化し、それぞれの部署が担当する分野が多岐、微細にわたることで、巨大災害に対して誰がどのように備え、防災計画を立てているのか、個人の目からは見えなくなる。社会的、行政的システムの不備により、想定された予防措置が機能しないというリスク、防災システムそのものの巨大化、複雑化により、「想定外」のケースに直面した場合に誰もコントロールできなくなるリスク。今回の震災ではこの種のリスクが、被災地全般で多々、見られた。

(真鍋弘樹『3・11から考える「家族」 戦後を問う、現在を歩く』岩波書店より)

質問 1. 第一段落の下線部分の文章を、中国語に訳せ。10%

質問 2. 東日本大震災が「想定外」の災害だと、よく言われているが、東日本大震災の経験をどのように台湾に生かしていくかについて、意見を簡潔に日本語で述べよ。(150字程度)20%

(四) 次の文章を日本語に訳せ。 18%

東京選民聚焦經濟福利政策

儘管日本各界普遍將這次選舉視為是否廢核的民意展現，但選前民調顯示東京選民並未將能源政策視為此次選舉中的重要議題，而是聚焦於經濟、人口高齡化、福利政策、預防東京發生垂直地震的防災對策，及二〇二〇年舉行的東京奧運會等。選前多家媒體民調顯示，舛添支持率一路領先。舛添也並未把能源政策列入核心政見。舛添在選舉中的主要訴求是如果選民認為安倍的經濟政策相對成功，便投票給他。

(【2014/02/10 聯合報】 <http://udn.com/> より)